

“農村の第一線でご活躍されている皆様のための”

第58回

農村医学夏季大学講座

すべての人々に健康を

～孤立を生まない地域づくり～

2018 7/20(金) — 21(土)

JA長野厚生連佐久総合病院
農村保健教育ホール





長野県厚生農業協同組合連合会
代表理事理事長

社 浦 康三

今年「農村医学夏季大学講座」は第58回を迎えました。これまでの長い歴史の中では、時代に即したテーマをその都度取り上げ、私たちの地域が抱える様々な課題について真正面から向き合ってきました。

今年は新たに「すべての人々に健康を」をメインテーマとして掲げ、サブテーマを“孤立を生まない地域づくり”とし、だれもが安心して暮らせる住みやすい地域づくりに取り組みたいと思います。

WHO憲章では、「健康とは、病気でないとか、弱っていないということではなく、肉体的にも、精神的にも、そして社会的にも、すべてが良好な状態にあること」とされるなか、とりわけ健康に影響する社会経済的要因は多種多様に亘ります。生物学的要素はもちろん、個人の経済（所得）、職業、教育状況、家族や周囲の人間関係、地域・社会関係、制度や政策のあり方等を重層的・多面的に捉える必要があります。平成30年4月1日に改正社会福祉法が施行されましたが、個人が抱える生きることの困難、生活問題にいかに対峙し全ての世代が相互に支え合う仕組み、地域づくりとしての医療・介護・福祉・子育て等、農山村地域の「いのちといきがいのある暮らしを守る」ケアリングコミュニティをどう実現していくのか、地域のあり方を皆で考えましょう。

信州の盛夏にふさわしい、熱い議論ができますことを大いに期待いたします。

開催にあたり、第一線でご活躍の講師の皆様並びにご支援を賜りました関係の皆様には厚く御礼を申し上げます。



佐久総合病院
統括院長

伊 澤 敏

内閣府は2018年度内に、ひきこもりについて40～59歳の年齢を対象とする全国調査を実施すると発表しました。背景には、ひきこもりの長期化と親の高齢化により、収入が途絶えたり、ひきこもりの当事者に親の病気や介護がのしかかるなどとして、一家が孤立、困窮するケースが顕在化し始めている事情があるからとのようです。私たちの診療の場にもたまにこうした問題が持ち込まれることがあります。病院に持ち込まれるのは、精神疾患があるか、それが疑われるケースがほとんどですが、その背後には特別な病気が無いにもかかわらず家から出られない、あるいは人とのつながりが持てないケースが膨大にあるのではないかと推測しています。

今年の夏季大学講座では「孤立」と「貧困」の問題を取り上げることになりました。都市部はもとより、田舎にもひきこもりや孤立の問題が静かに広がっているように感じます。孤立まで行かなくともコミュニティの結びつきは希薄になりました。つながりの希薄化や貧困は人々の健康にも影を落とします。今夏は佐久の地で、皆さんと一緒にこうした問題について考えてみたいと思います。

第58回 農村医学夏季大学講座プログラム

1日目 7月20日(金) 12:00～

時刻	テーマ	講師
12:00～	受付	
12:45～	開講式	
13:00 ～ 14:10	<p>[講演] SDGsの時代に生きる私たちと プライマリ・ヘルス・ケア －若月俊一先生の仕事に学ぶ－</p> <p>20世紀の世界の保健を導いたプライマリ・ヘルス・ケア(PHC)は、健康格差の問題が深刻になった今、その価値が見直されている。2015年から30年間のSDGs(持続可能な開発目標)の時代は、地域の自立、UHC(社会的医療保障)など、PHCの先導した面が大きい。アルマ・アタ宣言の30年前から、若月先生らが佐久で取り組んできた先駆的なPHCは、市民や保健従事者に豊かな示唆を与えている。</p>	<p>NPO法人シェア 国際保健協力市民の会 代表理事 (浅草病院 内科勤務) 本田 徹氏</p>
14:10～14:30	休憩	
14:30～15:00	若月賞授賞式	
15:00 ～ 16:00	<p>[若月賞受賞講演] 長崎人が青森の短命県返上活動にかかわって</p> <p>平均寿命は社会力を映す鏡である。その意味でも、青森県人として短命返上は必ず成し遂げなければならないと思うが、そのためには、社会全体が動き出す必要がある。すなわち、地域・職域・学校、あるいは健康と他分野(経済、教育、気候、文化など)の壁をなくし、Social Capital を構築しながら進んでいかなくてはならない。長野の成功を手本にしているが、短命県返上という“解”が出るまでは五里霧中である。言うは易し、を痛感している。</p>	<p>弘前大学大学院医学研究科 社会医学講座特任教授 中路 重之氏</p>
16:00～16:20	休憩	
16:20 ～ 16:50	<p>《劇》若月俊一 作 「はらいた」一幕</p> <p>「農村へ入ったら劇をやれ。」宮沢賢治の教えに従って病院の劇団部の活動は始まりました。それはまさに「すべての人々に健康を」と願うヒューマンズに根ざした協同組合運動であり、私たちの文化活動の原点でもあります。</p>	佐久病院劇団部
17:10～18:40	交流会 自由参加	

メインテーマ

すべての人々に健康を ～孤立を生まない地域づくり～

2日目 7月21日(土) 8:30～

時刻	テーマ	講師
8:30～	受付	
9:00 ～ 10:10	<p>[講演] 住まいの貧困から見える日本社会 ～生活困窮者支援の現場から～</p> <p>近年、大都市部を中心に「住まいの貧困」が広がっています。働いていながらも収入が低いために賃貸住宅を確保できず、ネットカフェなどで暮らす若者たち。居室内での死亡事故を恐れる物件オーナーから入居を拒否される高齢者。全国的に空き家が増え続けているにもかかわらず、住宅を確保できない人たちが増えているのです。世代を越えて広がる「住まいの貧困」の実態と、あるべき住宅政策や貧困対策について考えます。</p>	<p>一般社団法人 つくろい東京ファンド 代表理事 稲葉 剛氏</p>
10:10～10:30	休憩	
10:30 ～ 11:40	<p>[講演] 長野県の子どもの貧困について</p> <p>長野県では、昨年8月に子どもがいる県内の1万2千世帯を対象に生活実態調査を行いました。調査結果からは、一般家庭と経済的に困窮している家庭とでは健康面や心理面、生活習慣などで子どもの成長に様々な違いがあることが明らかになりました。本講座では、調査結果をはじめ、調査から得られた課題、子どもの貧困対策の事例についてお話しします。</p>	<p>長野県 県民文化部 次世代サポート課 こども・若者担当部長 佐藤 尚子氏</p>
11:40～12:30	昼食	
12:30 ～ 14:30	<p>[シンポジウム] すべての人々に健康を ～孤立を生まない地域づくり～</p> <p>1978年、世界保健機関は「すべての人々に健康を」を目標としてプライマリ・ヘルス・ケアを提唱しました。これは地域の健康課題を解決するために、住民のニーズに基づき、住民参加のもと、地域資源を活用しながら、さまざまな関係者の協働のもとに活動をすすめるものです。それから40年が経ちますが、今なお健康格差に繋がる社会格差は存在し対策が求められています。私たちの周りでは社会的孤立から健康を損う状況はないでしょうか。今回は「孤立を生まない地域づくり」について、シンポジストとフロアの皆様と一緒に学びたいと思います。</p>	<p>一般社団法人 つくろい東京ファンド代表理事 稲葉 剛氏 長野県 県民文化部 次世代サポート課 こども・若者担当部長 佐藤 尚子氏 佐久子育てわくわく団事務局 小林 恵理子氏 岐阜県各務原市八木山地区 社会福祉協議会 事務局長 清水 孝子氏 日本労働者協同組合(ワーカーズ コープ)連合会 センター事業団理事長 田中 羊子氏 司会:佐久総合病院 診療部長 北澤 彰浩氏</p>
14:30～15:00	閉講式	

開催要領

■参加費：所定の申込み用紙（コピーでも可）送付時に、全額を予め下記支払い方法によりご送金ください。
FAXで申込みされた方は、必ず電話にてご確認ください。

- 受講料・・・3,000円（テキスト代・税込） ※一日のみの受講は1,500円
- 交流会・・・20日2,000円（税込）
- お弁当代・・・昼食（21日）1,000円（税込）

■支払方法：申込後下記のいずれかの方法でご入金ください（お支払いの際は、金融機関備え付けの振込用紙をご使用下さい）。

- 農協口座—普通預金 6019633：JA 佐久浅間・佐久総合病院支所 / 口座名：佐久総合病院
- 銀行口座—普通預金 675：八十二銀行臼田支店 / 口座名：佐久総合病院
- 郵便振替—口座番号 00550-2-9429 加入者名：農村医学夏季大学事務局

*受講料等の払い戻しは致しませんので、ご都合の悪い場合は、代理の方がご出席ください。
*交流会・お弁当を希望の方は、受講料と一緒に申込みください。

■定員：400名

■申込締切日：7月13日（金）

■宿泊：各自、旅館またはホテルに直接連絡し予約をしてください。
なお、当会場周辺の旅館、ホテルは以下に示すとおりです。

開催場所のご案内



高速バスのご案内

運行区間	運行	料金	予約センター	時刻表
東京 ↓ 佐久病院	千曲バス	片道 3,100円	佐久 0267-62-0010	佐久総合病院発 6:00 7:30 9:00 17:30
	西武バス	往復 4,900円	東京 03-5910-2525	池袋発 8:50 15:50 17:50 20:10
大阪 ↓ 佐久平駅	千曲バス	片道 9,600円	佐久 0267-62-0010	佐久平駅発 21:03
	近鉄バス	往復 17,300円	近鉄高速バスセンター 0570-001631	大阪あべの橋駅発 20:20

宿泊のご案内

宿泊予約の際、夏季大学受講である旨をフロント係にお申し出ください。

ホテル名	料金(室料のみ)	バス送迎	所在地	電話番号
ホテルゴールデンセンチュリー	シングル(朝食付) 6,150~8,650円(税、サービス料込) ツイン(朝食付) 12,000~17,900円(税、サービス料込)	なし (自家用車15分)	〒385-0051 佐久市中込 3150-1 中込バイパス	TEL 0267(63)3355 FAX 0267(63)3366
佐久グランドホテル	シングル 7,200円(税、サービス料込) ツイン 14,000円(税、サービス料込)	なし (自家用車10分)	〒385-0051 佐久市中込 3-19-6	TEL 0267(62)0031 FAX 0267(62)7496
佐久平プラザ21	シングル 7,200~7,800円(税、サービス料込) ツイン 14,000円(税、サービス料込)	なし (自家用車20分)	〒385-0028 佐久市佐久平駅東 2-6	TEL 0267(65)8811 FAX 0267(65)8842
ホテルルートインコート佐久	シングル 5,900円(税、サービス料込) ツイン 11,500円(税、サービス料込)	なし (自家用車10分)	〒385-0055 佐久市三塚 126-1	TEL 0267(64)8811 FAX 0267(64)8812
東横イン佐久平駅浅間口	シングル 6,264円(税、サービス料込) ツイン 8,424円(税、サービス料込)	なし (自家用車25分)	〒385-0027 佐久市佐久平北 1-1	TEL 0267(66)1045 FAX 0267(66)1044
旅館名	料金(1泊2食付)	バス送迎	所在地	電話番号
清集館	8,000円(税、サービス料込)	あり (徒歩10分)	〒384-0301 佐久市臼田 2138	TEL 0267(82)2027 FAX 0267(82)7270

申込み方法・問合せ・連絡先

- ◆所定の申込書または佐久総合病院のホームページから申し込んでください(コピーでも可)。
- ◆受講票、領収書は事前に発行いたしません。受講当日、会場受付にてお渡しいたします。
- ◆申込み・問い合わせ先:佐久総合病院 第58回農村医学夏季大学講座事務局

事務局 第58回農村医学夏季大学講座事務局
長野県佐久市臼田197 佐久総合病院内
(直通)TEL 0267-82-2677
FAX 0267-82-7034
<http://www.sakuhp.or.jp/>

■主催:JA長野厚生連/JA長野県組合長会/JA長野中央会/JA長野信連/JA全農長野/JA共済連長野/JA長野健保

■後援:JA全厚連/日本農村医学会/日本成人病予防会/日本農村医学研究会/長野県/信濃毎日新聞社/SBC信越放送/NBS長野放送/TSBテレビ信州/abn長野朝日放送/NHK長野放送局/佐久医師会/佐久市/小海町/佐久穂町/川上村/南牧村/南相木村/北相木村